

最終処分場候補地の選定に係る 基本的な考え方について

平成25年5月17日

環境省

1

指定廃棄物処分等有識者会議について

■経緯・目的

最終処分場の立地にあたり、安全性や地域住民の安心の確保に万全を期するため、従来の選定手順、評価項目及び評価基準に加え、安全性の確保に関する考え方から選定手順に基づいて実施する詳細調査の方法、その結果の評価などの一連の作業について専門家に評価いただくため、指定廃棄物処分等有識者会議を環境省に新たに設置。

(第1回:3月16日、第2回:4月22日、第3回:5月10日に開催)

■検討内容

- (1)最終処分場等の安全性の確保に関する考え方
- (2)最終処分場等の候補地の選定手順、評価項目・評価基準
- (3)候補地の詳細調査の方法
- (4)候補地の選定に係る調査等の結果に関する評価
- (5)その他、放射性物質に汚染された廃棄物の処理に関する事項

2

指定廃棄物処分等有識者会議について

■有識者会議メンバー(計8名)

- 井口 哲夫 名古屋大学大学院工学研究科教授
大迫 政浩 独立行政法人国立環境研究所
資源循環・廃棄物研究センター長
木村 英雄 独立行政法人日本原子力研究開発機構
安全研究センター 廃棄物安全研究グループ研究主幹
○田中 勝 鳥取環境大学サステナビリティ研究所所長
谷 和夫 独立行政法人防災科学技術研究所減災実験研究領域
兵庫耐震工学研究センター研究員
西垣 誠 岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
丸山 久一 長岡技術科学大学工学部環境・建設系教授
米田 稔 京都大学大学院工学研究科教授

(○は座長)

3

有識者会議の概要

➤ 第1回有識者会議(3月16日)

- ① 最終処分場の構造・維持管理に関する安全性の確保の手法
- ② 候補地の選定に際しての安全性や安心の確保に関する評価項目・評価基準
 - ・①について、資料に必要な修正を加えることとして了承いただいた。
 - ・②について、フリートーキング。

➤ 第2回有識者会議(4月22日)

- ① 指定廃棄物処理促進市町村長会議の状況
- ② 指定廃棄物の最終処分場等の候補地選定の手順の見直し
 - ・①②についてフリートーキング

➤ 第3回有識者会議(5月10日)

- ① 指定廃棄物の最終処分場等の候補地選定の手順の方向性
- ② 安全等の確保に関する評価項目・評価基準の考え方
- ③ 安心等の評価方法の考え方
 - ・①②について概ね了承いただいた。
 - ・③についてはフリートーキング

4

今後の当面のスケジュールについて

	有識者会議	市町村長会議
5月	<p>第3回(5月10日)</p> <p>①指定廃棄物処理促進市町村長会議における議論について</p> <p>②候補地の選定手順、評価項目・評価基準について</p> <p>第4回(5月21日)</p> <p>①指定廃棄物処理促進市町村長会議における議論について</p> <p>②候補地の選定手順、評価項目・評価基準について</p>	
6月以降	<p>第5回</p> <p>①候補地の選定手順、評価項目、評価基準について</p> <p>②候補地の詳細調査の方法について</p> <p>(第6回以降も順次開催)</p>	<p>第2回(5月27日)栃木県</p> <p>①有識者会議における議論について</p> <p>②市町村長会議での意見に関する対応について</p> <p>③候補地の選定手順、評価項目・評価基準について</p> <p>(第3回以降も順次開催)</p>

